

車両感知式表示装置
【センサーシグナル】
KT-CSS-T2

製品概要

株式会社キクテック

はじめに

車両感知式表示装置 KT-CSS-T2は太陽電池を電源とした「出会い頭事故防止システム」です。

太陽光を電気に変換し蓄電池に電気を蓄え、見通しが悪く信号機が設置できない狭い交差点において、従道路から接近する車両をセンサーにて検知し、主道路を走行しているドライバーに交差点に接近する車両の存在を「車接近注意」の文字表示と接近方向を矢印にて認識させ、出会い頭事故の防止に寄与します。

KT-CSS-T2の特長

1. 光-電変換効率の良いシリコン太陽電池を使用しているため、日照条件の悪い場合でも正常に作動します。
2. 外装にアルミニウム合金の採用により、軽量で、衝撃に強く、耐腐食性にも優れています。
3. □320の文字を高輝度発光ダイオードにて表示しているため高視認性で球切れの心配がありません。
4. 通常、表示板盤面は黒色で文字は見えず、接近車両を検知したときに文字が発光し浮かび上がるので、ドライバーへの注意喚起効果を高めます。
5. センサーと表示板との間の信号転送に無線を用いているため施工性がよく、また、さまざまな交差点に対応することができます。
6. 昼夜24時間連続動作するシステムですので、常時出会い頭事故防止に寄与します。
7. 車両が近づいてくる方向を、矢印で案内しますので、ドライバーに対し、注意喚起をうながします。

KT-CSS-T2の用途

1. 信号機の無い交差点
2. 住宅路等の見通しの悪い交差点
3. 優先道路と交わる交差点
4. その他各種交差点

車両感知式表示装置 センサーシグナル KT-CSS-T2

仕 様

項目	種類	車両感知式表示装置
		KT-CSS-T2 —受信表示部—
太陽電池	種類	単結晶シリコン太陽電池
	最大出力	6.2W
	最適動作電圧	18.2V
	最適動作電流	3.41A
蓄電池	種類	密閉型鉛蓄電池
	公称電圧	12V
	初期容量	4.4Ah
発光体	種類	高輝度発光ダイオード
	発光体	赤橙色
	数量	645個
動作	動作回数	最大2100回/日
	点滅動作	接近車両検知信号受信時 10±2回(1秒周期点滅)
材質	表面パネル	ポリカーボネート樹脂(透明色)
	本体	アルミニウム製(ブラウン焼付塗装処理)

※本製品は機能・品質向上のため、仕様を変更することがあります。

車両感知式表示装置 センサーシグナル KT-CSS-T2

項目	種類	車両感知式表示装置
		KT-CSS-T2 -センサー送信部-
太陽電池	種類	単結晶シリコン太陽電池
	最大出力	1.6W
	最適動作電圧	3.7V
	最適動作電流	0.45A
蓄電体	種類	電気二重層コンデンサ
	容量	850F
センサー	種類	焦電型熱センサー
送信機	種類	特定小電力無線
	送信周波数	315MHz帯
	送信距離	約50m ※見通し距離（設置状況により変わります）
材質	本体	アルミニウム製（焼付塗装処理）

※本製品は機能・品質向上のため、仕様を変更することがあります。

車両感知式表示装置 センサーシグナル KT-CSS-T2

点滅作動概要

- ① 太陽光を上部太陽電池により光エネルギーを電気エネルギーに変換し、受信表示部・センサー送信部のそれぞれ内部にある蓄電池に充電します。
- ② 交差点に近づく車両をセンサーが感知すると、接近の信号を微弱電波にて受信表示部に送信します。
- ③ センサー送信部から送信されてきた接近の信号を受信すると、「車接近注意」の文字表示がLEDにて点滅表示されます。点滅回数は1回のセンサー感知毎に、1秒に1回の周期で約10回点滅します。

添付資料

- 図面